

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-2_文化芸術の振興と歴史文化の継承

基本計画		事業番号	細事業名称
5-02-01	文化芸術活動の推進	06199_01	別子山地区産業文化祭開催事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10144_01	文化施設環境整備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10335_01	文化芸術振興事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10335_19	俳句バトルライブ事業補助金
5-02-01	文化芸術活動の推進	10479_06	総合文化施設充実事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10502_01	総合文化施設環境整備事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10512_01	新居浜市文化祭事業補助金
5-02-01	文化芸術活動の推進	10545_01	新居浜市美術館特別企画展開催事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10558_01	にいほまSDGsアートフェスティバル開催事業
5-02-01	文化芸術活動の推進	10607_01	広瀬歴史記念館施設環境整備事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	02556_01	市史編さん事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_01	文化財保護事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_02	市指定文化財保存事業補助金
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10255_03	ツガザクラ保存管理計画策定事業
5-02-02	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	10577_01	旧広瀬邸等保存活用事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	06199_01	
事業名(行目名称)		別子山地区産業文化祭開催費		細事業名	別子山地区産業文化祭開催事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承		
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	別子山支所		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区地域住民等			数値	200人	
	手段(どうやって)	別子校区産業文化祭のうち産業の部においては、農林産物の展示、即売を実施する。文化の部においては、絵画、書道、写真、手芸品等の作品を展示する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子校区産業文化祭は、農林産物の展示、即売など各種の催し物を通じて生産者の意欲の向上を図るとともに、文化祭を通じて地域住民のつながりを深める。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		206	250	250	250	委託料 250千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	206	250	250	250		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
来場入場者数(人)			目標値	200	200	200	200
			実績	230	180	0	190
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
11月中旬に開催予定。新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止や規模縮小の可能性がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地域住民のつながりを深めると共に、地域の活性化及び地域文化の振興を図るため、現状どおり事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
別子山地域が一体となって取組むことにより、地域が活性化するとともに、農林産物に対する生産性の向上や地域文化の振興が図られており、計画通りに事業を進める。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10144_01		
事業名(行目名称)		文化施設環境整備事業		細事業名 文化施設環境整備事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課 旧文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民			数値	120351		
	手段(どうやって)	建物及び設備の改修、備品の整備						
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い、適正な施設の管理運営を図り、文化施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境の提供を図る。また、施設の不備による臨時の休館しないように適正な管理をしていく。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		47,701	35,463	35,463	33,667	工事請負費 15,312千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0	市民文化センター大ホール舞台機構設備取替工事 8,789千円		
	地方債	6,700	0	0	0	市民文化センター大ホールFS・第1・第2ライトソケットケーブル更新工事 3,520千円		
	その他	14,204	15,312	15,312	12,717	市民文化センター本館PS内配管改修工事 3,003千円		
	一般財源	26,797	20,151	20,151	20,950			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
工事修繕件数			目標値	0	0	3	3	0
			実績	2	4	1	3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
<p>施設も老朽化しており、利用者の安全を確保するためにも今後も継続した施設修繕は必要である。ただ近年、経年劣化に伴い突発的な修繕が増加してきていることもあり、修繕の種類に応じた予算確保が必要である。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
<p>耐用年数も残6年となり、費用効果を考えた設備投資が必要となってきた。老朽化した施設のため、緊急性を伴う突発性のものも多く、柔軟な対応が求められる。今後は大規模な工事ではなく、修繕や保守点検を強化し対応していきたい。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
<p>市民が少しでも良い環境で文化芸術活動が行えるよう、設備の更新を行った。老朽化が進んでいるため、今後も環境整備を行っていく必要があるが、残年数と費用対効果を考慮し、大掛かりな工事対応ではなく、すぐに対応できる修繕で対応できるよう予算対応が必要である。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10335_01			
事業名(行目名称)		文化芸術振興費	細事業名	文化芸術振興事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	旧文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	120351				
	手段(どうやって)	子どもが芸術活動を体験できるよう、芸術文化プログラム等を開催する。また、ホールの活用を図ると同時に、多くの市民が身近な地域で芸術に触れる機会を提供する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が芸術公演を体験し、また、子ども達も身近な地域で体験することにより、豊かな時間を共有する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,494	1,500	1,500	1,171	時間外勤務手当 107 消耗品 68 委託料 1325		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,494	1,500	1,500	1,171			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
文化公演事業数(アウトリーチ含む)			目標値	6	6	13	13	14
			実績	16	2	4	5	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあるが、感染対策を行いながら上半期に実施した「芸術文化プログラム(チェンバロ演奏)」、「地域住民のためのコンサート(令和2年度から延期)」は参加した児童生徒及びお客様から好評であった。コロナ禍でも対策を行いながら各事業を実施できることが実証されてきたので、なんでも中止するのではなく実施できる方法を考えながら進めていく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
引き続き、市民が文化を身近に鑑賞、活動できるような事業を実施するための予算要求を行う。また、費用対効果を考えた適正な受益者負担を設定する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
中止になった事業もあったが、コロナ感染対策を行いながら実施できた事業もあり、市民の方から好評をいただいた。来年度以降もコロナ対策を講じながら文化芸術に触れる機会を提供できるよう事業を行いたい。R4年度はNHK公開番組の収録を予定している。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10335_19		
事業名(行目名称)		文化芸術振興費	細事業名	俳句バトルライブ事業補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	旧文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	117389			
	手段(どうやって)	「俳句バトルライブ」と称したイベントを開催する。愛媛県出身の俳人神野紗季氏を講師に迎えて、作句発表やチーム対抗戦を行う。また、会場のお客様にも作句してもらいその場で講評を受ける。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	メインターゲットは小学生だが、それ以外の世代にも俳句に親しんでもらうことで創造力や感性を育み、豊かな心を醸成する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	補助金 223		
経費		0	223	223	223			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	223	223	223			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
参加人数			目標値	0	0	100	100	0
			実績	0	0	0	110	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する					
令和4年3月に実施予定。単年補助事業。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
単年事業のため廃止する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>「小学生！俳句バトルライブ」を開催し、自作の俳句の発表及びディベートを行い、講師から講評をいただいた。参加した小学生達は、俳句に触れることで言葉への関心を高めたり語彙を増やすことができた。 本事業は単年補助事業である。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10479_06		
事業名(行目名称)		総合文化施設充実費	細事業名	総合文化施設充実事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	117389			
	手段(どうやって)	新居浜市美術館で、企画展、常設展を開催する。あかがね座、創作スペースを活用してイベント、ワークショップを実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市の内外にあかがねミュージアムについて発信し、あかがねミュージアムを知ってもらおう。また新居浜市民の文化力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		13,724	24,921	24,921	14,653		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	13,724	24,921	24,921	14,635		
	一般財源	0	0	0	18		
寺坂公雄展実行委員会負担金 7,115 きかんしゃトーマス展実行委員会負担金 5,000 日和佐初太郎展実行委員会負担金 4,583 音楽祭実行委員会負担金 2,800							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
展覧会回数		目標値	7	5	6	6	5
		実績	7	4	3	7	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新型コロナウイルスの影響があるものの長期の臨時閉館を免れることができたが、これまでのような観覧者数を見込むことは難しい。今後はコロナ禍でも対策を行ったうえで、計画性のある事業展開を進めていく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>コロナ禍でも安全な開催ができる企画内容を計画する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
<p>新型コロナウイルス感染症に対応した展覧会等を実施したが、今後の社会状況の変化に伴い、別の方法での事業を検討していく必要がある。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10502_01		
事業名(行目名称)		総合文化施設環境整備事業	細事業名	総合文化施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	117389			
	手段(どうやって)	利用者から特に要望の多い設備の設置や、来館者の安全性を確保するため施設の一部を修繕する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	来館者の安全性の確保及び利便性向上					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,365	1,724	8,045	7,317	雨漏り修繕 913 シアタープロジェクター球交換 811	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	6,321	0		
	一般財源	4,365	1,724	1,724	7,317		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
工事・修繕実施回数		目標値	1	4	2	2	3
		実績	2	6	4	8	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
修繕計画に基づき予算確保を行っていたが、緊急対応すべき補修箇所は発出するため、計画どおりの修繕ができない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
修繕周期が2週目を迎えるものも出てくるため、修繕すべき箇所も増えることから、修繕計画に沿った余裕のある予算確保が必要となる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症の影響による一部修繕時期の変更や、緊急を要した落雷による設備損傷発生時の修繕にも適切に対応することができた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10512_01		
事業名(行目名称)		新居浜市文化祭事業推進費	細事業名	新居浜市文化祭事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117,439人(R3.3.31現在)		
	手段(どうやって)	公民館もしくは小・中学校体育館等を使用し、文化祭を開催する。 ・児童・生徒の作品展示 ・公民館サークルおよび単位自治会の作品展示 ・地域各種団体によるバザー・作品展示等					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公民館を中心として文化祭を開催することにより、市民の文化性および協調性を高め、今後より一層の地域交流の向上を目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	文化祭事業補助金 160千円(執行予定)	
経費		40	1,127	1,127	207		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	40	1,127	1,127	207		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
文化祭来場者数(人)		目標値	120351	118521	118521	117439	116052
		実績	35773	185	185	2614	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
今年度の事業が11月上旬から始まるため、事後評価とする。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの校区、地区の文化祭が中止もしくは規模縮小となった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
文化祭は、子どもから大人までが訪れることができる校区行事であり、来場する個人がそれぞれの価値観で楽しめる場である。文化祭の開催に携わる方にとって、一体となって取り組むことで、他の校区行事にも良い雰囲気をもたらしている。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りに校区文化祭を実施できないため、今後は感染対策を行いながら、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新しい事業の実施方法について検討し、取り組んでいきたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症拡大のため、当初予定していた全校区、地区の開催は困難であったが、展示会、テイクアウト販売など実施可能な部分に絞って、感染対策を徹底しながら、実施することができた。また、補助金の対象とならなかったものの、開催した校区や地区もあり、市民の文化性及び協調性を高めることができた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10545_01		
事業名(行目名称)		新居浜市美術館特別企画展開催費		細事業名	新居浜市美術館特別企画展開催事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	117389		
	手段(どうやって)	東京芸術大学と連携し、同大が開発したクローン技術による失われた世界的文化財の復元物を「触れて、見て、学ぶ」体験、学習型の特別企画展を開催する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	特に優れた芸術に触れる機会を市民に提供する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	24,289	24,289	23,971	特別企画展実行委員会負担金 23,816		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	24,289	24,289	23,971			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
観覧者数			目標値	0	0	10000	10000	9500
			実績	0	0	---	5836	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する					
昨年度からの延期事業であったが、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込まれず、今年度に入ってから開催時期を検討することに苦慮した。無事に開催する運びとなったが、感染対策を行えるものに内容を変更し、会期中は観覧者への配慮を継続しつつ、安全な事業展開を図った。これまでのような観覧者数は見込めなかったものの、観覧者の満足度は100%に近かった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
開館5周年を記念する事業を翌年に延期したものであるため、次年度の開催はない。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	D:事業の統合・休廃止を検討					
開館5周年を記念する事業を翌年に延期したものであるため、次年度の開催はない。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10558_01		
事業名(行目名称)		にいはまSDGsアートフェスティバル開催事業費		細事業名	にいはまSDGsアートフェスティバル開催事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	117,389人		
	手段(どうやって)	SDGsの17項目をテーマとした子ども対象の国際公募型美術展の実施 「先人条例」に定める新居浜ゆかりの人物が先駆的かつ多大な貢献をしたことに因み、その人物の名を冠した賞を設け、業績を顕彰する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	子どもたちの豊かな感性、創造性を発揮・表現する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	SDGsアートフェスティバル実行委員会負担金 2434		
経費		0	3,136	3,136	4,333			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	3,136	3,136	4,333			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
実行委員会及び展覧会開催数			目標値	0	0	2	0	0
			実績	0	0	2	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する					
コロナ禍でも開催することのできるWEBを活用したフェスティバル内容に変更し、開催に向けての準備を進めているところではあるが、前回の開催方法とは全く違うため、システム(応募フォーム)のエラー等の問題も多くあり、無事に開催されるまでは手探りの状態である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
隔年での開催としているため、次年度のフェルティバルは行わないが、WEBでの閲覧は持続する予定である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
SDGs未来都市に選定されたこともあり、今後もSDGsの視点を念頭においた事業を実施していく予定ではあるが、これまでの「アートフェスティバル」という形式とは違った形の事業を検討していきたい。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10607_01		
事業名(行目名称)		広瀬歴史記念館施設環境整備事業		細事業名	広瀬歴史記念館施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化芸術活動の推進		担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	117,389人		
	手段(どうやって)	毀損した建物及び設備の工事、修繕等を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	工事、修繕等の施工により、施設の適正な管理運営を図るとともに、広瀬歴史記念館施設を利用する市民の利便性の向上及び快適な使用環境の提供に資する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	13,998	13,998	10,886	工事費 8,668 設計等委託料 3,289 施設修繕料 2,041		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	12,500	12,500	9,700			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		0	1,498	1,498	1,186			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
工事、修繕等の件数			目標値	0	0	3	3	0
			実績	0	0	0	3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
まもなく開館25年を迎える本施設における建物及び設備の毀損又は不具合は、経年劣化に伴うもの、緊急性を伴う突発的なもの等があり、工事、修繕等の内容に応じた必要な予算を確保した上、速やかに施工することにより、観覧者の安全を確保する必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
本年度における広瀬歴史記念館空調設備改修工事設計業務委託の完了に伴い、翌年度においては、機械設備及び電気設備の改修工事を施工する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
予定していた3件の毀損した建物及び設備の工事、修繕等の施工により、観覧者の利便性が向上したほか、より快適な施設環境を提供することが可能となった。今後においても、計画的に本事業の推進を図ることとする。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02556_01
事業名(行目名称)		市史編さん事業費		細事業名	市史編さん事業	
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承	
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承		担当課	市史編さん室	
II 事務事業の実施概要						
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	118521
	手段(どうやって)	市民意識の醸成を図りながら、資料の収集、調査・分析等を行い、新しい「新居浜市史」を編さんする。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が、新居浜市の歴史を学び、知ることにより、新居浜市に対する愛着や誇りを持ってもらえるようになるとともに、新居浜市が将来進むべき方向を見極めるときに、そのよって立つ新居浜市の過去から現在を伝えるための正確な記録を残す。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		10,689	17,416	17,416	12,091	審議会等報酬 432千円 会計年度職員報酬(3人) 5,191千円 古文書目録作成、原稿料等報償費 3,830千円 委員旅費、講師旅費等費用弁償 900千円 職員資料調査等特別旅費 492千円 印刷製本費(市史研究等) 698千円 資料複製等業務委託料 2,752千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	10,689	17,416	17,416	12,091	
	一般財源	0	0	0	0	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
普及事業の実施回数			目標値	1	2	1
			実績	1	1	1
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
コロナ禍の影響により市史編さんの現地調査等に遅れが生じており、今年度未発足である市史編さん委員会を設立し、刊行計画の見直しを行い、その後市史編さん審議会に諮る。引き続き史料収集を行い、本編発刊に向け着実に作業を進める。啓発事業についても、コロナ禍の状況をみながら、市民に対し郷土愛の醸成を図るため、講演会を実施するとともに、パネル展などにより、市史編さんの活動の理解、市民への意識高揚を図る。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
市史編さん事業の刊行計画の見直しを進めるとともに、市史編さん室の設置以来の事業の検証を行い、着実に遂行できる市史編さん体制を整える。また、引き続き、市民の関心の高い新居浜市史に関する講演会等の啓発事業を継続する。						
VI 事後評価						
成果		総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当		
コロナ禍の影響により市史編さんの現地調査等に遅れが生じており、刊行計画の見直し及び基本方針の市史構成の見直しが必要となり、12月に新居浜市史編集委員会を設置し、2度にわたり協議し見直し案を策定した。令和4年度の早い時期に、新居浜市史編さん審議会を開催し、刊行計画及び基本方針の見直しを決定し、計画に基づく市史編さん事業を進めていく。啓発事業については、コロナ禍で講演会が実施できなかったが、パネル展を開催し、市民への意識高揚を図った。						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10255_01		
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	文化財保護事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民	数値	120351			
	手段(どうやって)	(1)開発業者等からの土木工事等の予定場所が周知の埋蔵文化財包蔵地であるか否かの照会に対し、適切な対応を指導する。(2)文化財所有者等から所有する文化財の保存について相談があった場合に、適切な助言を行う。(3)文化財に関する所有者や開発業者からの多様な質問に対し、適切な対応がとれる体制を整備するため、職員の資質向上のための研修に積極的に参加する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	(1)指定文化財については、所有者等からその適切な保存のために相談があったときに専門的な立場から助言を行うほか、修理等が必要な場合にはその方法を指導し、必要な場合は財源確保のためのアドバイスを行うことにより文化財の適切な保存と活用を図っていく。(2)埋蔵文化財については、公共事業に伴う発掘調査の計画をなるべく早期に把握し、調査体制の充実を図る。民間開発についてはいつどの程度の規模の調査が発生するか予測できないため困難ではあるが、公共事業に伴う調査については事業課に直接照会依頼を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)		令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		220	1,399	1,399	1,209		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	220	1,399	1,399	1,209		
印刷製本費(冊子「新居浜の文化財」) 938 原稿執筆謝礼(冊子「新居浜の文化財」) 200 器具借り上げ料 330							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
文化財指定登録件数		目標値	102	102	109	110	110
		実績	100	109	110	110	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
一人係であるため、今年度の様に職員が異動した場合、試掘調査の方法や、相談先へのアドバイス等、全て一からとなるため内部的だけでなく、相手に対しても迅速に対応することが困難であった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
令和3年度に実施している、冊子「新居浜の文化財」改訂にかかる経費分が減少するため、数字的には縮小するが、本事業の内容的には、バイパス開通に伴い隣接する包蔵地に対する照会件数が増えてきており、今後、試掘等の件数増加が想定される。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	B: 事業の進め方の改善検討					
バイパス開通に伴う当該地域での開発増加により、問合せ、試掘相談、立会等の件数が増加したが、担当が1名のため、立会や相談等が重複した場合の調整が困難であった。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10255_02	
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	市指定文化財保存事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承			
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	旧文化振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	120351		
	手段(どうやって)	文化財の所有者(管理者)に補助金を支出し、適正な補修、維持管理を行ってもらう。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市指定文化財を将来にわたって適正に維持していく。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		410	356	356	187	アクセシソウ保存事業補助金 45 久貢屋敷保全事業補助金 311	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	410	356	356	187		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
補助実施率			目標値	100	100	100	100
			実績	50	33	33	20
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特にない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
多喜浜塩田の歴史を今に伝える貴重な文化財の保全にかかるものであり、例年どおり要望を行いたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
アクセシソウ保全事業対補助金対象者が事業確定前に死去され事業を実施することができなかった。翌年度は実施できるように多喜浜校区で体制を構築中である。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10255_03		
事業名(行目名称)		文化財保護費	細事業名	ツガザクラ保存管理計画策定事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承	担当課	旧文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	120351			
	手段(どうやって)	植生調査を実施し、有識者や市民の意見を取り入れた保存管理計画を策定する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	貴重な天然記念物を後世まで守り伝えていく。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		6,768	6,102	6,102	5,942	業務委託料 5,704 講師等謝礼 50 費用弁償(委員等招聘) 390		
財源	県・国支出金	3,383	3,051	3,051	2,970			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		3,385	3,051	3,051	2,972			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
委員会開催回数			目標値	0	0	1	1	2
			実績	0	1	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
コロナにより会議日程等が順延してしまった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
令和2～3年度は、天然記念物緊急調査国庫補助金の対象事業として、保存活用計画を策定するために現地踏査等を含めて実施したが、令和4年度は、史跡等保存活用計画策定国庫補助金の対象事業として、これまでに調査した結果を踏まえた保存活用計画の策定、これまで設置した機材等の撤去を行う。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
保存活用計画策定のために必要なデータの収集、現地確認等を計画どおりに進めることができたため、無事、銅山峰のツガザクラ群落調査事業は無事完了した。翌年度以降、この結果を用いて保存活用計画の策定を行う。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10577_01		
事業名(行目名称)		旧広瀬邸等保存活用事業		細事業名 旧広瀬邸等保存活用事業				
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 文化芸術の振興と歴史文化の継承				
	基本計画	文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承		担当課 旧文化振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	旧広瀬邸等			数値	1件		
	手 段 (どうやって)	国指定の重要文化財である旧広瀬邸について、文化庁補助事業として、重要文化財旧広瀬家住宅耐震診断事業を実施する。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	重要文化財旧広瀬家住宅耐震診断事業による診断結果を基に検討し、耐震が必要と判断した場合は、旧広瀬邸の耐震工事を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		33,146	28,232	28,232	27,732	計画策定等委託料 27,709 費用弁償(委員等招聘) 267		
財 源	県・国支出金	12,650	14,079	14,079	13,829			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	20,496	14,153	14,153	13,903			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
委員会開催回数			目標値	0	5	2	2	2
			実績	0	4	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
受託者との協議により、保存修理工事の方が耐震対策工事より比重が高くなることから、翌年度以降の文化庁補助事業の進め方を変更する必要があるため、文化庁調査官の現地指導を仰いだ。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
文化庁調査官との協議の結果、翌年度の重要文化財旧広瀬家住宅耐震診断事業(3年目)を取りやめ、修理及び耐震対策工事のための調査工事(令和5年度から着手予定)を実施する。なお、翌年度は、名勝旧広瀬氏庭園耐震診断事業(新規)を当初の予定どおり実施する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
重要文化財旧広瀬家住宅耐震検討委員会を8/31、12/14の2回(それぞれZoomによるWeb会議)開催し、耐震診断の結果を基に補強案の検討を行った。								